

かほく市議会 議会広報特別委員会 視察報告

【研修日程】

令和元年11月6日（水）～7日（木）

【視察研修先及び内容】

1. 栃木県宇都宮市 : 議会広報紙の編集・発行について
2. 宮城県川崎町 : 議会広報紙の編集・発行について

【参加者】

議会広報特別委員長	丸井	一範
副委員長	大西	潤
委員	杉本	成一
	高橋	成典
	野田	稔彦
	塚本	佐和子
随行	森	益啓
	沖野	良一

議会広報紙の編集・発行について

(うつのみや栃木県宇都宮市)

宇都宮市は、人口約 52 万人、面積約 417 平方キロメートルであり、東京から北へ 100 キロメートル、栃木県のほぼ中央に位置し、北西に遠く日光連峰を望み、東に鬼怒川の清流、東南には関東平野が開け、美しい自然に恵まれています。

また、恵まれた立地条件や交通条件、各種都市機能の集積などにより、栃木県の政治・経済・文化の中心地であると同時に、首都圏の北の拠点都市として発展を続けています。

宇都宮市の議会だよりは、「中核市議会議長会 議会報コンクール」において、「最優秀賞」に選ばれるなど、読みやすいよう工夫した色づかいや、手にとりやすい表紙が評価さ

れています。

編集に関して工夫されている点として、

- ・市の広報紙との重複や単なる情報の提供はできるだけ避け、一般質問や委員会の議論を中心に掲載する。
- ・市民のために何が議論され、どう展開し対処されたかという視点で、掲載記事を検討する。
- ・写真やイラストをできるだけ取り入れる。
などの説明がありました。

議会広報紙の発行について、宇都宮市議会と当市議会を比較すると、委員会と事務局の役割や発行までのスケジュールなどは大きく違いますが、「市民に親しまれて読んでもらえる紙面づくり」という、基本的な考え方は同じです。

宇都宮市議会では、コンクールの受賞各市の審査員コメントや紙面作成研修などを参考に、随時紙面を見直しており、QRコードの活用、見出しの工夫、ユニバーサルデザインへの配慮などは、当市議会においても、今後の編集作業に役立つものと思いました。



議会広報紙の編集・発行について

かわさきまち
(宮城県川崎町)

川崎町は、人口約 8,700 人、面積約 271 平方キロメートルであり、仙台市の南に位置し、蔵王山麓に属する山岳丘陵地帯と河岸段丘の発達した山間盆地に区分できる自然豊かな地

域であります。

また、蔵王からの西北風（蔵王おろし）が吹きぬけることから、風から住宅や農地を守る防風雪林がつくられ、これが独自の緑の景観となっています。

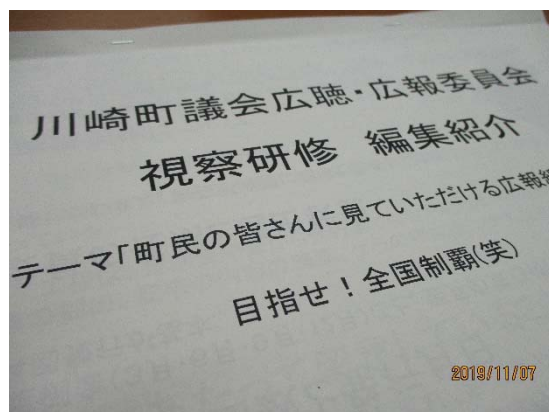
川崎町の議会だよりは、「全国町村議会広報コンクール」において、平成30年度 第2位、29年度 第8位、28年度 第10位と上位入賞の常連であります。

編集に関して工夫されている点として、

- ・最も重要な特集記事を見開き2・3ページで紹介する。
 - ・町民が必要としない内容は載せない。
 - ・前回発行の広報紙について、反省点・改善点を協議する。
 - ・表紙に子どもの写真を取り入れる。
 - ・住民を「議会広報コラボレーター」に委嘱し、表紙写真の撮影などを依頼する。
- などの説明がありました。

「作り手が一所懸命でないと、読者も一所懸命に読んでくれない」「編集期限ギリギリまで、色、写真、文字などをチェックしている」と強く言われていたのが非常に印象的で、全国町村議会広報コンクールにおける「最優秀賞」の獲得を目指して、委員会として、また、委員それぞれが積極的に取り組む姿勢を非常に感じる事ができました。

また、当市議会 広報紙に対するアドバイスも多く頂き、「これまでどおり」と慣例的になりがちな編集作業において、今後役立つものと思いました。



(まとめ)

2日間にわたる視察研修の成果を生かし、これからも「議会だより」を通じて市民の方に議会活動を理解してもらい、議会に親しみをもってもらえるよう、委員一同、頑張っていきたいと思えます。